



やお市政だより

第430号
昭和46年4月20日
昭和24年10月10日第三号郵便物認可

発行所 大阪府八尾市役所
八尾市本町1 TEL代03881
印刷所 サンケイ印刷株式会社

市民憲章 わたくしたち八尾市民は 1. 若い力をそだてましょう。1. あたたかい心でまじわりましょう。1. みどりのまちをつくりましょう。1. 文化財をたいせつにしましょう。1. 働くよるごびに生きましょう。

市の動き

94^{おく}7,727^{まんえん}

●昭和46年度一般会計予算

先月5日から15日まで開かれました3月定例市会で、本年度の予算審議され原案どおり可決されました。

ことしは統一地方選挙が間近かにせまっているため、福祉対策の充実をのぞく建設事業等大きな事業は債務負担や一部継続的事業のみを計上する骨格予算となっています。

一般会計と国保、水道など5特別会計を合わせた予算総額は137億1千36万円で45年度の当初予算と比べ、伸び率は17.4%となっています。



—骨格予算です—

います。

また特別会計では、近鉄八尾駅前、曙川北の両土地区画整理事業を設け、近鉄駅前が6千282万円、曙川北が4億1千706万円を計上しています。

新規事業については、新しい市長および市議会議員が選出された後の6月定例会で審議される予定です。新規事業の内容については、その際当市政だよりに発表します。

●歳入

●市 税	43億8,088万円
●自動車取得税交付金	1億円
●地方交付税	9億円
●分担金および負担金	5,436万円
●使用料および手数料	1億649万円
●国庫支出金	11億8,840万円
●府支出金	2億3,814万円
●財産収入	6,689万円
●繰入金	3,097万円
●諸収入	6億2,064万円
●市 債	17億4,030万円
●その他	1,020万円
歳入合計	94億7,727万円

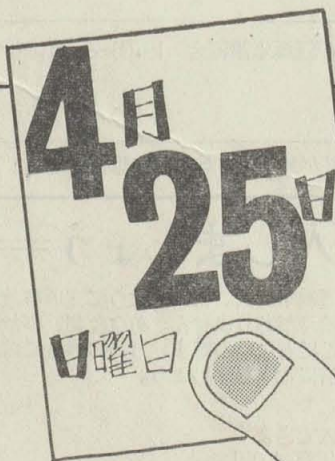
●歳出

●議 会 費	1億564万円
●総 務 費	11億4,142万円
●民 生 費	16億4,472万円
●衛 生 費	6億9,752万円
●労 働 費	9,903万円
●産 業 費	1億3,853万円
●土 木 費	17億7,051万円
●消 防 費	2億1,769万円
●教 育 費	27億1,575万円
●公 債 費	9億3,500万円
●予 備 費	1,146万円
歳出合計	94億7,727万円

市議会議員

統一地方選挙の投票日が近づきました。明るく正しい選挙を行なうために政策や政見をよく聞いて、投票日には1人残らず投票しましょう。

- 投票する順序—さきに市議員、ついで市長の投票を行います。
- 投票用紙の色分け—市議会議員の投票用紙は浅黄色。市長は白色の投票用紙です。



市長選挙の投票

午前 7時から
午後 6時まで

やお市政だより

第430号

2

昭和46年4月20日

市の行事

4/26 (月)	★春の交通安全運動 (5月1日まで) ★ 家児 ★ 心配	
27 (火)	★ 家児 ★ 交通 ★ 青少 ★ボクとママの体操教室 13.30~16.00 教育センター ★不用犬の引き取り 9.00~15.00 八尾保健所	
28 (水)	★ 家児 ★ 結婚 ★ 行政	★春季市民体育大会参加申し込み締めきり日 バレーボールの部 (一般)
29 (木)	★天皇誕生日 ★春季市民体育大会 弓道の部 9.00~ 教育センター	
30 (金)	★ 家児 ★ 身障	★春季市民体育大会参加申し込み締めきり日 軟式庭球の部 (一般)
5/1 (土)	★防災の日 ★メーデー	★春季市民体育大会参加申し込み締めきり日 サイクリングの部 (中学生、一般)
2 (日)	★八十八夜 ★春季市民体育大会 軟式庭球の部 9.00~ 清友高 バレーボールの部 (女子) 9.00~ 教育センター	
3 (月)	★憲法記念日	
4 (火)	★ 家児 ★ 交通 ★ 青少 ★ボクとママの体操教室 13.30~16.00 教育センター ★出張献血 10.00~15.00 市立病院	★春季市民体育大会参加申し込み締めきり日 体操の部 (中学生、一般)
5 (水)	★こどもの日 ★少年を守る日 ★春季市民体育大会 体操の部 9.00~ 教教育センター サイクリングの部 9.00~ 大和川提防	
6 (木)	★立夏 ★ 家児 ★ 法律 ★ 青少 ★婦人スポーツ教室 (軟式庭球) 13.30~16.00 教育センター ★一般スポーツ教室 () 17.30~21.00	★自動車運転者講習会 19.00~ 大正小 ★春季市民体育大会参加申し込み締めきり日 卓球の部 (一般)、柔道の部 (小・中学生、一般)
7 (金)	★ 家児 ★ 身障 ★府の巡回交通相談 10.00~16.00 市民相談室	★自動車運転者講習会 19.00~ 志紀小
8 (土)		
9 (日)	★春季市民体育大会 卓球の部 9.00~ 教育センター 柔道の部 9.00~ 八尾高 サッカーの部 9.00~ 八尾中	
10 (月)	★ 家児 ★ 心配	★自動車運転者講習会 19.00~ 教育センター

★みなさんの近くで起こった善意・善行・伝統的行事などがありましたら市広報係まで (TEL91-3881)



〈商品デザインの改善指導〉

中小企業の商品のデザインを改善して、輸出向として市場性のある商品づくりをしていただくため、府では指導員 (デザイナー) を派遣して、商品デザインの改善指導をしています。

申込み、お問合わせは、府商工部通商観光課販路開拓係 (東区大手前之町 電941-0351 内線2634) まで



〈高校奨学生を募集中〉

高等学校に在学している生徒の中で、家庭の都合で修学が困難な方のため、高校奨学生を募集しています。

☆給付額 1人月額2千円 (返還する必要はありません)

☆給付期間 昭和46年4月から1カ年間
☆応募の資格 八尾市民の子弟で高校に在学している方

☆必要な書類 申請用紙、住民票、住民票保護者の所得証明書各1通

希望者は4月30日までに教委学務課まで



〈労働大学講座を開催〉

労働省、府では労働組合員や労務担当者に労働問題の基礎から専門的な知識を勉強していただくため、労働大学講座を開きます。

☆講座の内容 労働法総論、労働基準法、労務管理など

☆受講料 前期講座 2,500円 後期講座 2,000円 計4,500円

☆開設の場所 東大阪労働セツトルメント (前期) 大阪市立労働会館 (後期)

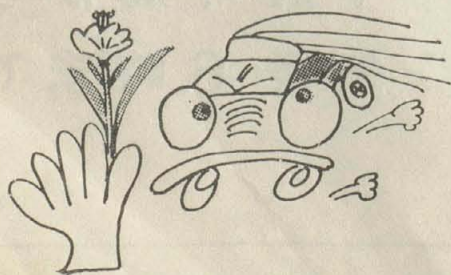
希望される方は4月28日までに府労働部労政課 (電941-0351) へ

人の動き 2月末現在

人口総数	223,574 (+983)
男	112,620 (+476)
女	110,954 (+507)
世帯数	67,235 (+283)
() 内は前月からの増減	

身障 = 身体障害者相談 **心配** = 心配ごと相談 **結婚** = 結婚相談 いずれも13時~16時 福祉会館で **家児** = 家庭児童相談 10時~16時 福祉会館で **青少** = 青少年受護相談 9時~17時 教育センターで **交通** = 交通相談 **法律** = 法律相談 **行政** = 行政相談 いずれも13時~16時 市民相談室で

●万が一にそなえ交通災害共済に加入しましょう



人と車の渦、まさに交通戦争時代。毎日のように交通事故が起きて、本当に気が休まる時がありません。あなたが、事故にあわないという保証はどこにもないのです。万が一の場合に備えて、あなたも交通災害共済に加入しましょう。

〈交通災害共済〉

☆市民ならだれでも加入できます
☆掛け金が安く、1人年額 400円です
☆契約の手続きが簡単です
☆支払いの手続きも簡単で、不幸に被災されたときは、早く支払われます。(この共済は1年間効力を持ちますが、この期間中に市外に転出されても有効です)

の期間中に市外に転出されても有効です)

★共済金の支払い方法
▷6カ月以上の傷害 10万円 ▷3カ月以上の傷害 5万円
▷1カ月以上の傷害 2万円 ▷2週間以上の傷害 6千円
さらに両親または片親を失った交通遺児にも20万円を支給する特典が設けられています

★加入の申し込み=申し込みは、共済契約申込書に共済金を添えて次のところに申し込んでください。

☆お近くの自治振興員さん ☆市役所市民相談室かもよりの各出張所 (申込用紙も用意してあります)



やお市政だより

第430号

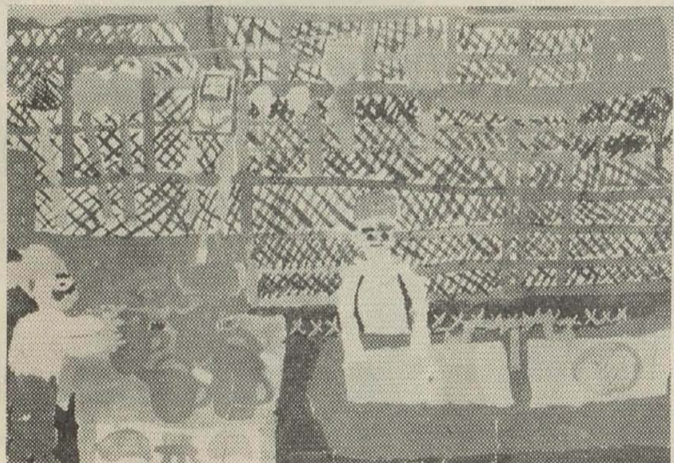
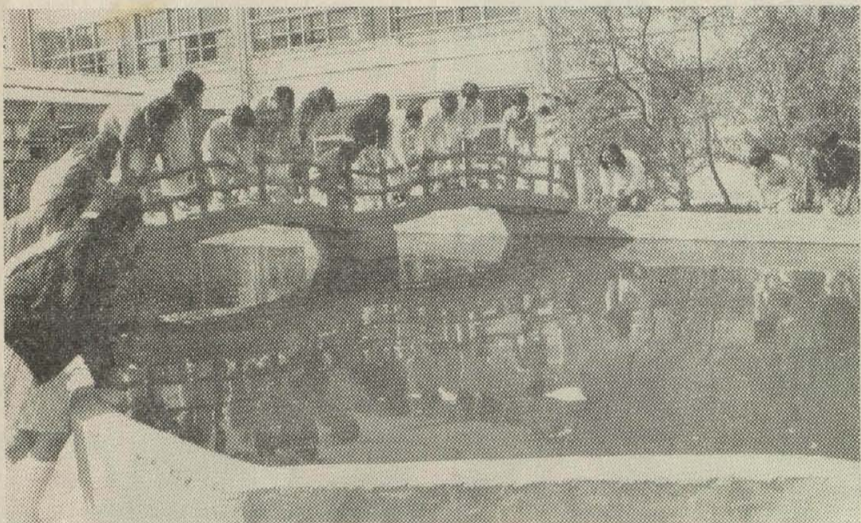
7

昭和46年4月20日

児童のページ

わたしたちの学校

〈桂小学校の巻〉



(上) 図画 4年



(左) 版画5年 (中) 線画5年 (右) 習字 5年



私たちの学校は、八尾市の北のはしにあります。4年ほど前につくられた第2寝屋川をこえすと、むこうはすぐ東大阪市になっています。

私たちの学校の児童会規約の中には、その目的として、「桂小学校の児童が、自主的、民主的に高まることをねらって、願いや要求を大切に育てます。おたがいが、人間として尊重しあい、楽しく生きる権利を大事にして差別を許さない、明るく、楽しい学校生活を全員で築きあげます」と書かれています。

そして、この目あてに向って、みんなががんばっています。

この間の卒業式の時にも、在校生が、卒業生に、

「勉強のたいせつさを、差別を許さないことを、人権を守りきる大切さを教えてくださいました。本当に有難うございました。」とお礼をいいました。卒業していく、おにいさん、おねえさん方は、「しあわせの日々から学んだ協力と信頼の美しさを真実に向って団結する尊さを困難に屈せず差別とたたかう大切さを知りました。」と呼びかけ。「これからも、共に肩をくんで、進んでいこう。」と、言葉を残して、巣立っていかれました。

私たちは、けんかの弱い人も、体の悪い人も、家にいろいろなやみごとのある人も、みんなが、同じように、明るく楽しい学校生活をする権利があることを確かめあい、元気ががんばっています。

(6年 男子)



〈もうすぐ卒業式〉

がんばりなさい。 障害児学級 H・M
ぼくは、水曜日になったら卒業です。みんなは、東郷先生のいうことをよくきいて、勉強をやって、がんばりなさい。渡辺先生にも、国語をおしえてもらって、がんばってやってください。みんな さようなら

市役所のしごと

—その1

☆市民と市役所

八尾市には、およそ22万人の市民が住んでいます。

市役所(しゃくしょ)は、市民の生活が向上(こうじょう)するよう、いろいろな仕事をしています。

これらの仕事をするのに必要(ひつよう)な費用(ひよう)は、市民から集めた税金(ぜいきん)でまかっています。

☆市役所のはたらき

いままで雨がふるたびにどろんこになっていた道路を舗装(ほそう)しているところや下水道をつくるために、太い下水管を埋(うず)めているところを見たことがあるでしょう。

道路を舗装したり、下水道をつくるのは市役所の仕事のひとつです。

このほか、市役所では学校をたてたり、伝染病(でんせんびょう)を防(ふせ)ぐために予防注射(よぼうちゅうしゃ)をしたり、ゴミやし尿(にょう)を集めてまわるなど、たいへん広い範囲(はんい)にわたって、市民の生活と直接(ちよくせつ)つながる仕事をしています。

☆市役所のしくみ

この広い範囲にわたる仕事を、正確(せいかく)に、てきぱきと処理(しり)するため、市役所では専門(せんもん)の部(ぶ)や課(か)にわかれて、仕事をしています。

八尾市役所では、総務部(そうむぶ) 企画財政部(きかくざいせいぶ) 民生部(みんせいぶ) 市民経済部(しみんけいせいぶ) 建設部(けんせつぶ) 開発部(かいはつぶ) 同和対策部(どうわたいさくぶ) 改良事業部(かいりょうじぎょうぶ) 保健衛生部(ほけんえいせいぶ) の9部があり、その下はたくさんの課にわかれています。

課のなかには、さらに係(かかり)にわかれています。

次号では総務部からくわしく説明していきます。

●未来の子どもの生活

南山本小学校 3年 武野 縁

「いってきまーす。」
家から 学校までは、全部うごく歩どう。
おまけに、アーケードがついてある。雨の時でもかさはいらない。ランドセルや 図画の道具など、重い物は教室のロッカーにあずけてあるから、持ち物は小さなかばんだけ。
うんどうじょうも、アーケードばかりであるから雨でも雪でもたのしく遊べる。
うんどうじょうには、トランポリンやゴカートなどいろいろな遊び道具がおいてあって 自分の力をのばすことができる。
冬でも運動じょうは、あたたかく、夏はずすしい。それは、八尾市全体を暑い時は、気おんを下げ、さむい時は、おんどを上げる地いきだんぼうがおこなわれているからだ。
教室の中には、ビデオテープがそなえてあって、社会科や理科の時間に、見たいばん組

が いつでも見られるようになっている。
おくじょうには、室ないプールがある。冬でもおんすいなので 一年じゅうを通して水泳ができる。ま ほうかごも自由につかえるので 泳げない子は、ほとんどない。
家へ帰るとすぐ遊えん地へ出かけていく。
子どもの遊びばは、町のあちこちに作られそこには、野球、たっ球、バレーボールなど どんな 球ぎでもできるようにできている。
道具も、ちゃんとそろえてあって、自由に使うことができる。
車の心配もないし、広い場所で 子どもたちが いきいきとたのしんで遊んでいる。
町には、公害なども ぜんぜんない。
それは、工場は、じゅうたく地とはななされているし、また 工場から出すけむりや、はいえきを しょ理するきかいがないと、工場

は、作れないきまりが、八尾市にできたからだ。きまりを守らない工場には、きびしいとりしまりがおこなわれる。
玉串川や恩ぢ川などでは、すみきった水の中で 子どもたちがおよいだり、さかなをとったりしてあそんでいる。
日曜日には、おとうさんやおかあさんと近くの高安山へハイキングに出かける。高安山には、動物園や、しょく物園ができてある。動物園には、世かいの中から 集められためずらしい動物がみられ、しょく物園は、「やくそうえん」「ねったいしょくぶつえん」というように、こまかく分けられている。八尾市と大阪市をむすぶちか鉄は、八尾市の人たちにとって もっとも 大せつな乗り物である。
道は、立体交差になっていて おうだん歩どうをわたる時のような心配はない。

八尾空こうからは、日本各地へのお客を乗せたひこうきが とび立っていく。
おとうさんたちがおさめたぜい金は、学校や、道路、ほいく所などを作る お金に かんぜんに使われている。子どものけき場も地くに一つずつできて 人形けきや、じどうげきなどが いつでも見られるしくみになっている。遊びあいてがなくて、家で ひとりでしょんぼりしている子がないように 市は、いろいろなせつびを 作ってくれている。
はたらけなくなった人たちには、安心してくらせるように 市がお金をだしてくれる。
もし、びょう気になったら 八尾市と国とがそうだんして びょう気の人を なおすお金をだしてくれるきまりができてある。
わたしは、八尾市が こんな町になると ずばらしいだろうなあ……と思いました。



市の話題



●勝軍寺で日本最大の太子像が完成しました

太子堂の勝軍寺で、ことし秋に予定されている聖徳太子1250年祭を記念して製作中だった日本一の太子画像が完成しました。

この画像は、たて10mよこ7mという大きなもので、1万円札や5千円札の聖徳太子像の作者として知られている馬場孝孝画伯が、約1年4カ月かかってえがいたものです。

聖徳太子の和の精神に共鳴して再建に協力した10万人の名前が太子像の下に書き込まれています。

大画像は、いま再建中の太子本堂に安置され、4月22日に開眼供養がおこなわれます。

●玉串川沿いの桜並木にボンボリやタンザクがつるされました

山本町北を流れる玉串川沿いの桜がことしもみごとに咲き、付近の町会の人びとが、夜桜見物のため、ボンボリと俳句のかいたタンザクをつるしました。

この町会は、山本町北の大和町会（岸清一会長）と隣接する仲町会、青葉町会で、桜並木約500本に町会の有志、老人クラブ会員、こども計35名が、ボンボリ（電球入り）と「夜桜やおぼろの月がつきまとう」など俳句を書いたタンザクをつるしたものです。



●許麻神社で本殿・幣殿の復興完成を祝う正遷宮祭が行なわれました

昭和44年9月13日の火災で本殿と幣殿を焼失した許麻神社では、再建工事をすすめていましたが、このほど木造の拝殿を補修し、本殿は鉄筋コンクリートで新築、自動火災警報装置も完備しました。

完成を祝う正遷宮祭では、はっぴ・はちまき姿の男児や着物姿の女児ら約500名の稚児たちが1mの権の前と後に砂を入れた丸いカゴをつるし、本殿にまく砂持行事がおこなわれました。

●し体不自由児訓練所で入学式がおこなわれました

光南町のし体不自由児訓練所へ、ことしは16名の新入生が入学しました。

訓練所はことしから2学級が新設され、これまでの在校生とあわせて30名になりました。入学式では、在校生たちが器楽合奏で新入生を迎えましたが、新入生は大勢の友だちに囲まれ、緊張したためか、いささか神妙な顔つきでした。



●近鉄信貴線で踏切事故訓練が行なわれました

春の交通安全運動の一行事として6日、近鉄が信貴線で踏切事故訓練を行ないました。

この訓練は、信貴線山本第3号踏切で列車と中型トラックが衝突、運行不能となり、乗客をバスで代替輸送をするという想定。

訓練は、市民ら約100名が見守る中、信貴山口行の通常列車と模擬トラックを踏切上で突っ込ませましたが、固い木で作られたトラックは、約50mひきずられ跡かたもな



く大破しました。訓練とはいえ、事故のものすごさに見物人たちは驚きの声をあげ今後、このような事故が本当におこらないようにと願っていました。

しあわせを築く道

同和月間をかえみて

久宝寺 T・H

この数年、産業・経済・社会は目まぐるしく進歩し、月の石も見られる現在、私達一番大切な基本的人権は守られて来たでしょうか。『人はみな平等です』差別をしてはならない。憲法でもうたわれ、日頃耳にする言葉です。これを、ただたんに憲法として、言葉として受けとめてはいけません。

この平和な時にこそ、社会・学校・家族ぐるみで、この同和教育に取りくんで、みんなのしあわせのため一日も早く解決しようではありませんか。

幸い、私達の市では、度々、講演会も開催され、参考資料・パンフレットなども整い、差別をなくすよい時期です。私も過日、先生の講演会に出席し、感じましたことは、この問題を解決するには、自分1人1人であり、これが、家庭・学校・社会にと連なって、差別の根が切りとられると思いました。人に欠点を言われ、ののしられ、見下げられ、いやなあだ名でもって呼ばれたらどんな気持ちになるでしょう。私達も知らぬ間に、差別をし、時には白い目で、世間を眺めた日もあったでしょう。その人々、その家庭の立場を考える時、お互いに、傷つけ合っているのです。

これからでも、遅くはないのです。



同和问题入門 ⑤

思いやり、差別のかべをつき破り、各人が正しい理解と判断のもとに、一日も早く、完全解放に推進しなければならぬのです。

A先生のお話の中にもありましたように、部落出身のため悩み、自から命も絶たれ、また幸福な結婚生活が破壊された知り、せまい部屋の片すみで涙しておられる人達は現にあるのです。このような事は話の一端ですが、これらの事を解決するのは、大変な仕事ですが、困難だからと手をつけず、耳を傾けなければ、手遅れになります。私は思います。もっともっと部落の人々と意思疎通をはかり、手に手をとって、一つの大きな輪をえがこうではありませんか。

一方、学校では先生と生徒が一体となって、真剣に同和问题、部落解放に取りくんでおられます。ここで、我々、父親・母親も、進んで差別のない明るい社会のため、1日1時間、いやわずかなひととき、この問題を家族ぐるみで話し合い、その話がさらに職場などにも進展し、それがみなさんに完全に消化、吸収され、各自1人1人の心の奥深く浸透され、次の世代には、必ずや部落差別の名が消えるよう努力しようではありませんか。

きっと、差別のない明るい日々が、1日も早く訪れる事を願いつつ。